



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和6年5月23日
第4号

頑張れ、ベニ子！

校長 清水利浩



3月上旬から東中の中庭にいるベニ子の体調がよくありません。浮き袋の調子がよくないのでしょいか、多くの時間を水の中で横になって休んでいるような姿を見ることが多くなりました。

熊谷東中といえば、ベニ子とムサシトミヨというくらい、ベニ子は、熊谷東中のアイドル的存在で、在校生はもとより卒業生、地域の方々、たくさんの人々に愛されています。

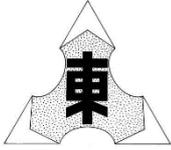
もっとベニ子について知ってもらいたく、本校に残るベニ子に関する記録を紹介します。

ベニ子は、平成5～6年、当時のPTA会長である加賀崎千秋様から寄贈していただきました。この時、本校にお勤めしていた瀧口裕史先生と井出功先生いわく、「熊谷東中にやってきた時は、金魚くらいの大きさでした。それが今ではこんなに大きくなって驚いています。ベニ子という名前がついたのは少したってからでした。」と教えてくださいました。こうしたことから、ベニ子は、熊谷東中にやってきて、30年目、年齢も30歳を超えることとなります。

熊谷東中学校のホームページ『2021/4/2』の記録にも、このように記されています。「ベニ子生誕30周年！ベニ子は今年30歳になります。食は細くなりましたが、今日も優雅に泳いでいます。」人間が飼育している緋鯉の寿命は、少なくとも約20～30年だといわれています。犬の平均寿命が約12年、猫が約16年ということから、緋鯉は、私たちの身近な動物と比較すると長生きすることがわかります。といってもベニ子は、かなりの年を重ねて頑張っていることがわかります。

本校のホームページ、5年前の『2019/4/26』の記録に、「今日のベニ子。雨の中、中庭へ行って見ると、元気なベニ子がありました。すぐに近くに寄ってきて餌を食べました。食欲はあります。」ベニ子の池に行くと、今でもベニ子は私たちのところに近寄ってきます。頑張れ、ベニ子！





1年生林間学校特集



スローガン「138人の心を1つに友情・団結・挑戦 ^{さいこう}～最幸の林間学校をつくろう～」

1日目 5/16 (木)

① 出発式



② 自然の家到着



③ 入所式



④ オリエンテーリング



⑤ ナイトハイク



2日目 5/17 (金)

⑥ トレッキング



⑦ キャンプファイヤー



3日目
5/18 (土)

⑧ 野外炊事 (カレーライスづくり)



⑨ 退所式

